

2022 年度 全国中学校体育大会

第 62 回全国中学校水泳競技大会

3月16日に発生した福島県沖地震の被害により、セントラルスポーツ宮城G21プールの天井が崩落しました。改修工事に時間を要することから、同施設メインプールでの大会開催は不可能となりました。県内、東北ブロック内、さらにはブロック外の他都県での代替開催を模索しましたが、いずれも条件面で折り合いがつかず、一時期は中止もやむなしという状況になりました。しかしながら全国大会への参加を目指して日々努力してきた生徒の気持ちを考えると、形を変えてでも実施できないかと日本中体連、日本水泳連盟、宮城県実行委員会で検討を重ね、競泳競技については同施設のサブプール（短水路）で大会を開催する運びとなりました。飛込競技については、岩手県・盛岡市立総合プールの開催になります。

全国中学校水泳競技大会をこれまで短水路で実施した例はなく、緊急時での特別大会となります。したがって本大会での記録は、大会記録、2022年度(公財)日本水泳連盟ナショナル選手標準記録の対象大会とはなりません。なお短水路中学新記録を含め、短水路記録は公認いたします。

また競技会の会期についても、宮城県内で開催予定の全国中学体操競技が同様に震災の影響で会場変更となり、宮城県総合運動公園内のアリーナで開催されることになったことを受け、選手控え場所確保のために当初予定されていた8月17日～19日から、8月18日～20日に変更することになりました。

なお、アッププールが確保できないため、競技の合間に練習時間を設ける必要があり、日程の関係上、リレー競技および開閉会式は行わず、観客席も狭小なため無観客大会といたします。

何かとご不便とご負担をおかけすることとなりますが、選手のための競技会運営に努めてまいりますのでご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- ◇目的 本大会は、中学校教育の一環として、中学校生徒に広く水泳競技実践の機会を与え、技能の向上とアマチュア精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒相互の親睦をはかるものである。
- ◇主催 (公財)日本水泳連盟・(公財)日本中学校体育連盟・宮城県教育委員会・利府町教育委員会
- ◇主管 (一財)宮城県水泳連盟・東北中学校体育連盟・宮城県中学校体育連盟
- ◇後援 スポーツ庁・全日本中学校長会・全国都道府県教育長協議会・全国市町村教育委員会連合会・(公社)日本PTA全国協議会・日本私立中学高等学校連合会・NHK・全国新聞社事業協議会・毎日新聞社・宮城県・利府町・宮城県市町村教育委員会連合会・宮城県公立中学校長会・利府町立中学校長会・(公財)宮城県スポーツ協会・利府町体育協会・利府町PTA連合会・河北新報社・NHK仙台放送局・ミヤギテレビ・tbc東北放送・KHB東日本放送・仙台放送

8月18日(木)～20日(土) 競泳競技……………セントラルスポーツ宮城G21プール(宮城県総合プール)
8月17日(水)～19日(金) 飛込競技……………盛岡市立総合プール

競 泳 競 技

- ◇期 日 8月18日(木)・19日(金)・20日(土)
- (1)開会式 開会式は行わない
- (2)競 技 8月18日(木)～20日(土)
- (3)閉会式 閉会式は行わない
- ◇会 場 セントラルスポーツ宮城G21プール(宮城県総合プール)
サブプール(25m×8レーン)
〒981-0122 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1
- ◇公式計時 SEIKO

◇競技方法

- (1) 男女別学校対抗とする。
- (2) 予選・決勝ともに8レーンで実施する。
- (3) 決勝は、予選の結果上位8名が出場できる。ただし、棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。また同タイムのため9名以上になった場合は、スイムオフにより決勝進出者を決定する。ただし、800m、1500m自由形はタイム決勝とし、決勝時間に実施する。

◇競技種目

	(男子)					(女子)				
・自由形	50m	100m	200m	400m	1500m	50m	100m	200m	400m	800m
・背泳ぎ		100m	200m				100m	200m		
・平泳ぎ		100m	200m				100m	200m		
・バタフライ		100m	200m				100m	200m		
・個人メドレー			200m	400m				200m	400m	

◇競技順序

(1日目) 8月18日(木) 競技開始 10:00～

1. 女子	400m個人メドレー	予選	7. 女子	800m自由形	タイム決勝
2. 男子	400m個人メドレー	予選	8. 男子	1500m自由形	タイム決勝
3. 女子	200mバタフライ	予選	9. 女子	400m個人メドレー	決勝
4. 男子	200mバタフライ	予選	10. 男子	400m個人メドレー	決勝
5. 女子	200m自由形	予選	11. 女子	200mバタフライ	決勝
6. 男子	200m自由形	予選	12. 男子	200mバタフライ	決勝
			13. 女子	200m自由形	決勝
			14. 男子	200m自由形	決勝

(2日目) 8月19日(金) 競技開始 10:00～

15. 女子	400m自由形	予選	25. 女子	400m自由形	決勝
16. 男子	400m自由形	予選	26. 男子	400m自由形	決勝
17. 女子	200m平泳ぎ	予選	27. 女子	200m平泳ぎ	決勝
18. 男子	200m平泳ぎ	予選	28. 男子	200m平泳ぎ	決勝
19. 女子	50m自由形	予選	29. 女子	50m自由形	決勝
20. 男子	50m自由形	予選	30. 男子	50m自由形	決勝
21. 女子	200m背泳ぎ	予選	31. 女子	200m背泳ぎ	決勝
22. 男子	200m背泳ぎ	予選	32. 男子	200m背泳ぎ	決勝
23. 女子	200m個人メドレー	予選	33. 女子	200m個人メドレー	決勝
24. 男子	200m個人メドレー	予選	34. 男子	200m個人メドレー	決勝

(3日目) 8月20日(土) 競技開始 10:00～

35. 女子	100mバタフライ	予選	35. 女子	100mバタフライ	決勝
36. 男子	100mバタフライ	予選	36. 男子	100mバタフライ	決勝
37. 女子	100m自由形	予選	37. 女子	100m自由形	決勝
38. 男子	100m自由形	予選	38. 男子	100m自由形	決勝
39. 女子	100m背泳ぎ	予選	39. 女子	100m背泳ぎ	決勝
40. 男子	100m背泳ぎ	予選	40. 男子	100m背泳ぎ	決勝
41. 女子	100m平泳ぎ	予選	41. 女子	100m平泳ぎ	決勝
42. 男子	100m平泳ぎ	予選	42. 男子	100m平泳ぎ	決勝

※競技時間については、監督者会議およびホームページで知らせる。

◇申込規定

1. 参加資格

- (1) 選手は、都道府県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍し、第 62 回全国中学校水泳競技大会要項により全国大会参加資格を得た者に限る。
- (2) 年齢は、平成 19 年（2007 年）4 月 2 日以降に生まれた者に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、2022 年 6 月 30 日（木）までに、各都道府県中学校体育連盟を通して、（公財）日本中学校体育連盟に申し出ること。
- (4) 参加資格の特例
 - ① 学校教育法第 134 条の各種学校（1 条項以外）に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
 - ② 参加を希望する各種学校は以下に定める条件を具備すること。
 - 1) 全国大会の参加を認める条件
 - (ア)（公財）日本中学校体育連盟の目的および長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 生徒の年齢および修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - (ウ) 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
 - 2) 全国大会に参加した場合に守るべき条件
 - (ア) 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長または教員、部活動指導員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。
- (5) 標準記録について
都道府県予選会で予選・決勝を問わず標準記録を突破した者（同タイムを含む）は、その種目に申し込むことができる。
また、開催都道府県において、標準記録突破者がいない場合は、その種目に限り上位 1 名の申し込みができる。800m、1500m 自由形はその限りでない。
- (6) 特別措置
国際大会出場のため、やむを得ず都道府県予選会に出場できない場合は、所定の手続を経て、予選会に参加せず、本大会への出場を認める。この場合の国際大会とは、（公財）日本水泳連盟が派遣する国際大会を対象とする。

2. 標準記録

(種目)	(距離)	(男子)	(女子)	(種目)	(距離)	(男子)	(女子)
自由形	50m	24.90	27.28	平泳ぎ	100m	1:06.77	1:13.45
	100m	54.61	59.37		200m	2:23.82	2:36.66
	200m	1:58.75	2:08.41	バタフライ	100m	58.17	1:03.67
	400m	4:12.18	4:29.57		200m	2:09.77	2:20.25
	800m		9:20.30		個人メドレー	200m	2:12.72
1500m	16:47.86		400m	4:42.27		5:04.39	
背泳ぎ	100m	1:01.31	1:05.80	フリーリレー	4×100m	3:51.66	4:11.59
	200m	2:12.36	2:21.54	メドレーリレー	4×100m	4:16.43	4:37.92

- (注) ①都道府県の予選会は長水路での大会を原則とする。ただし、やむを得ない事情により、予選会が短水路で実施する場合は、（公財）日本水泳連盟の定めた短水路標準記録を適用し、出場を認めるものとする。
- ②フリーリレー、メドレーリレーにおける第 1 泳者の正式時間は、その対象としない。
 - ③社会の情勢により、出場制限を行う場合がある。

※リレー種目について

- ・本大会でのリレー競技は行わない。
- ・リレー競技の標準記録突破校については、プログラムに掲載する。また、「全国中学校水泳競技大会出場証明書」を発行する。
- ・リレー競技については各都道府県予選大会にて実施し、標準記録突破校がある場合には、リザルトを大会本部に送付すること。

3. 制限

- (1) 各都道府県予選会で参加資格を得た種目に限る。
- (2) 1校1種目3人、1人2種目以内とする。

4. 参加料

参加選手1人につき3,000円とする。

参加料の振込の際に必ず振込人の名前の前に都道府県名をつけること。

振込先は、開催地実行委員会が発行する第62回全国中学校水泳競技大会実施要項を参照

5. 申込方法

- ① 出場校は、WebSWMSYSによりエントリーをする。
- ② 出場校は、開催地実行委員会発行の第62回全国中学校水泳競技大会実施要項に従い、必要書類を各都道府県中学校体育連盟水泳専門部に提出する。
- ③ 各都道府県中学校体育連盟水泳専門部は、開催地実行委員会発行の第62回全国中学校水泳競技大会実施要項に従い、必要書類を一括して締切日までに下記の申込先に提出する。
- ④ 内容確認期間：8月2日（火）～8月3日（水）の間、第62回全国中学校水泳競技大会のHPで確認することができる。訂正がある場合は、宮城県実行委員会水泳競技実行委員会（FAX）へ8月4日（木）午前9時までに訂正依頼をメール送信かつ電話にて行う。（メール送信先は宮城県実行委員会水泳競技実行委員会が発行する大会実施要項参照）

6. 申込先 宮城県実行委員会水泳競技実行委員会が発行する大会実施要項参照

7. 申込締切

WebSWMSYSへの入力：2022年7月30日（土）正午

書類：2022年7月31日（日）17:00必着のこと。書類は、簡易書留速達で大会事務局へ郵送すること。

ただし、申込締切日に届かないことが予想される場合は、書類はメール送信すること。その際、正式書類は至急郵送すること。また、参加料は「4. 参加料」を参照し、振り込むこと。

◇引率者および監督

- (1) 引率者および監督は、出場校の校長・教員・※部活動指導員とする。
※ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。（以下同じ）
- (2) 外部指導者（以下コーチ）について

全国大会ではコーチをおくことができる。コーチは、出場校の校長が認めた者とし、所定の「外部指導者確認書（校長承諾書）」に必要事項を記入し、大会事務局の参加申込時に提出する。ただし当該校以外の教員は外部指導者になれない。

- (3) 引率者の特例

全国中学校体育大会の個人種目の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が引率者として承認したコーチの引率を認める。

◇競技方法 2022年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則による。

◇得点（優勝校）の決定

各種目ごとに1位8点、2位7点・・・8位1点とし、総得点の最も多い学校を優勝校とする。総得点と同じ場合は、次の順によって決定する。

- (1) 入賞者の多い学校。
- (2) 1位の多い学校。
- (3) 2位の多い学校（以下8位までこれにならう）。

◇ドーピング検査

- (1) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規定が適用される。
- (2) 大会当日 18 歳未満の参加者は、18 歳未満競技者親権者同意書を必要とする。
(様式は J A D A ホームページよりダウンロードすること)

◇表彰

- (1) 個人種目成績
各種目 3 位までの選手にメダルならびに賞状を授与し表彰する。8 位までの選手に賞状を授与する。
- (2) 総合成績
男女別優勝校には、(公財)日本水泳連盟より優勝旗を、ならびに(公財)日本中学校体育連盟よりトロフィーを贈る。併せて、男女ともに 8 位までの学校に賞状を贈る。
- (3) 表彰式
表彰式への参加は 3 位までとする。

◇プール開場時刻及び練習会場の使用時間

	開場時刻	サブプール
17 日(水) 公式練習日	9 : 00	9 : 00～17 : 00 ※使用の詳細については後日決定次第連絡する。
18 日(木)	7 : 15	競技終了後～18 : 00 ※練習時間は競技毎に指定する。
19 日(金)	7 : 15	競技終了後～18 : 00 ※練習時間は競技毎に指定する。
20 日(土)	7 : 15	※練習時間は競技毎に指定する。

※開場時の混乱を避けるため、選手優先の時間差入場を行う。

※練習時間の詳細は競技日程確定後、大会 H P にて連絡を行う。

◇監督者会議

- (1) 日時・会場
日時・会場は、決定次第連絡する。
- (2) 内 容 競技運営等について その他
- (3) 参加者 出場校監督及び関係者

◇大会情報

プログラム編成後の競技時間等、大会運営内容の変更や連絡がある場合は、大会ホームページに掲載する。

◇宿泊・弁当

宿泊・弁当要項により斡旋する。

※宿泊については、適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、必ず大会実行委員会指定業者を通して申し込むこと。指定外の宿泊施設の利用は、原則認めない。

◇個人情報の取り扱い

大会の主催者は、個人情報に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規程」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は競技大会の参加審査・競技大会運営上必要なプログラム編成および作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表(記録集)等、その他、競技運営および必要な連絡等に利用する。大会に参加する選手は、これに同意する。

◇その他

- (1) 会期中の負傷・疾病については、応急処置のみ行う。また、本大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。ただし、参加者は、健康保険証を持参すること。
- (2) 都道府県予選会において、主催団体は、次の点に留意すること。
 - ① 1 会場 1 回とし、関係主催団体が計画実施すること。

② (公財)日本水泳連盟宛て(〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8階)に会場・連絡先を記入用紙で、2022年3月31日までに報告された大会であること。

③ 主催団体は競技終了後、直ちにその大会の詳細な記録を所定の方法で(公財)日本水泳連盟に報告すること。

(3) 応援旗・横断幕、部旗について

会場の関係で、応援旗・横断幕、部旗は掲示しない。